

新 TNT フローティングライセンス

2010年7月1日、マイクロイメージ社は TNTmips 2010 とそれ以降のリリースで使える新しいフローティングライセンスの管理システムを導入しました。従来の FLEXIm ライセンスマネージャは既存の TNTmips ライセンスに対して継続してサポートされ、特別な状況での新規ライセンスの導入の場合のみ提供されます。TNTmips の固定ライセンス (シングルユーザ) 用のキーについては変更はありません。

FLEXIm は、TNTmips のユーザにとって、インストールや稼働、管理が難しく、マイクロイメージ社にとっても新しいコンピュータの開発環境に適用する際、困難な点がありました。例えば、MacOS 10.6(Snow Leopard) で 64-bit 版の TNTmips をインストールした Mac は FLEXIm のクライアントとして使用できません。

新しいライセンスマネージャは新たに Safenet HASP NET キーを使用します。見かけは TNTmips の固定ライセンスキーで使われている HASP USB キーと似ています。HASP NET キーでも購入したフローティングライセンスの台数分を設定して出荷されます。ライセンスの数は後で増やすことができます。また、HASP NET キーをマイクロイメージ社に戻すことなく、機能追加やアップデートも可能です。キーは TNTmips がインストールされたクライアントからアクセス可能なネットワーク上の任意の Mac または Windows パソコンに取り付けます。それから通常の TNTmips ソフトウェア (DVD またはダウンロード) を使って、必要なドライバをそのパソコンにインストールします。HASP NET キーが取り付けられたパソコンに TNTmips をインストールする必要はありませんが、そのパソコン上で TNTmips を操作することも可能です。

この新 HASP NET キーは対応するプラットフォームの TNTmips2010 および DV2011 をサポートします。64-bit 版 Mac での 64-bit 版 TNTmips も含まれます。この HASP NET ライセンスを使うには 2010 年 7 月 1 日以降にリリースされた TNTmips バージョンをインストールする必要があります。

重要： HASP NET キーは TNTmips 2009 およびそれ以前のバージョンは使えません。

※フローティングネットワークライセンスの場合。固定ライセンス (シングルユーザ) の場合、過去のバージョンにさかのぼって使用できます。

HASP NET フローティングライセンスの特徴をまとめました。

- ・ ライセンスマネージャは必要ありません！
- ・ キーを Windows や Mac の USB ポートに接続します
- ・ クライアントとして Windows XP、Vista、7 および Mac 10.4、10.5、10.6 が使えます (32bit と 64bit 版に対応)
- ・ HASP キーの固定ライセンスと同様の簡単なインストレーション
- ・ TNTmips の前のバージョンには対応しません (TNTmips 2010 以降のみ使用可能)
- ・ 期間限定ライセンスへの対応
- ・ 全ユーザから利用可能な Admin コントロールパネル
- ・ どのシート (クライアント) からも機能や使用ライセンス数の更新が可能
- ・ 従来の FLEXIm ライセンスはサポート継続 (FLEXIm からのキー変更には 200 ドルかかります)
- ・ 新 HASP NET キーでは FLEXIm は使用できません。
- ・ 新 HASP NET キーは FLEXIm を使わないので、FLEXIm を使用する他のアプリケーションと干渉することはありません。

新しい TNT チュートリアルでは、HASP NET フローティングライセンスの特徴とインストール方法を解説しています (<http://www.microimages.com/documentation/Tutorials/install.pdf>)。ここでは、TNTmips のフォルダからアクセスできる HASP 管理コントロールパネルの簡単な使い方を紹介しています。

